

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第5区分  
【発行日】令和4年12月5日(2022.12.5)

【公開番号】特開2022-55284(P2022-55284A)  
【公開日】令和4年4月7日(2022.4.7)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-062  
【出願番号】特願2021-16487(P2021-16487)  
【国際特許分類】

D 0 4 B 21/00(2006.01)

10

D 0 4 B 21/18(2006.01)

【F I】

D 0 4 B 21/00 A

D 0 4 B 21/18

【誤訳訂正書】  
【提出日】令和4年11月8日(2022.11.8)  
【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
【訂正対象項目名】全文  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

地組織と、パターン組織と、少なくとも一群の弾性系とを含み、弾性系の各群は2本の弾性系で構成されている、マルチバー経編生地において、各群の前記2本の弾性系が、前記地組織の1つの同じ畝内のループの少なくとも90%上で反対方向にインレイされ、各群の前記2本の弾性系は反対方向に対称にインレイされ、絡み合わせ様のまたは絡み合わされたロープ様の構造を形成し、反対方向にインレイされた前記2本の弾性系は前記地組織のループと一緒に絡み合わされることにより、前記弾性系上の前記地組織の前記ループの結合力を増強することを特徴とする、マルチバー経編生地。

30

【請求項2】

一群の弾性系が前記地組織の各畝内の前記ループの少なくとも90%上で反対方向にインレイされることを特徴とする、請求項1に記載のマルチバー経編生地。

【請求項3】

前記弾性系はスパンデックスを含むことを特徴とする、請求項1に記載のマルチバー経編生地。

【請求項4】

前記弾性系は1000デニール以下の細さを有することを特徴とする、請求項1に記載のマルチバー経編生地。

40

【請求項5】

少なくとも一群の弾性系を設けるステップであり、弾性系の各群は2本の弾性系で構成されている、設けるステップと、各群の前記2本の弾性系を地組織の1つの同じ畝内のループの少なくとも90%上で反対方向にインレイするステップとを特徴とし、

各群の前記2本の弾性系を反対方向にインレイする前記ステップは、各群の前記2本の弾性系を反対方向に対称にインレイし、絡み合わせ様のまたは絡み合わされたロープ様の構造を形成することにより実施され、反対方向にインレイされた前記2本の弾性系は前記地組織のループと一緒に絡み合わされることにより、前記弾性系上の前記地組織の前記ループの結合力を増強する、請求項1から4のいずれか一項に記載のマルチバー経編生地を編む方法。

50

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

本発明によれば、前述の目的は、マルチバー経編生地、および弾性系が反対方向にインレイされるその編み方法により達成される。該布地は、地組織と、パターン組織と、少なくとも一群の弾性系とを含み、弾性系の各群が2本の弾性系で構成されており、各群の該2本の弾性系は、地組織の1つの同じ畝内のループの少なくとも90%に反対方向にインレイされる。

10

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 0】

弾性系インレイバーにより対称に反対方向に弾性系をインレイする編み方法を、本発明による特定のマルチバー経編機上で実施し、マルチバー経編生地は、地組織と、パターン組織と、反対方向にインレイされる弾性系とを含み、インレイの指示、糸通し方法、および機械ゲージを次の通り表す：

20

第1の弾性系インレイバー1：1-1/0-0//、完全に通される、24E

第2の弾性系インレイバー2：0-0/1-1//、完全に通される、24E

または次の通り表される：

第1の弾性系インレイバー1：2-2/0-0//、完全に通される、24E

第2の弾性系インレイバー2：0-0/2-2//、完全に通される、24E。

## 【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 2】

次の表は、本発明による布地と先行技術のHN305Eパターン布地との間の洗濯試験の比較を示す。比較例としてのHN305Eパターン布地は、地組織とパターン組織とを有し、地組織の鎖編の各畝内にインレイされる弾性系(即ち、スパンデックス系)が1本だけ存在する。規格ISO6330 4M F5 Cyclesに従って、該洗濯試験を実施し、5回洗濯することにより、洗濯過程をシミュレートした。

30

40

50